石川　裕汰

高６６期

地方公務員（消防職員）

初めまして、登美丘高等学校第 66 期生の石川裕汰と申します。私が登美丘高等学校を受験したのは、クラブ活動が盛んで、勉強も頑張れる学校だと知ったからです。部活動では新たな挑戦を試み、男子バレーボール部に入部しました。男子バレーボール部では、顧問の先生よりバレーボールだけではなく、社会人になるための礼儀や言葉遣い、チームメイトを大切にすることを教わりました。男子バレーボール部でプレーしていた頃の思い出は一生の宝物です。現役時代、キャプテンを務め、また東京遠征選手にも選出していただいたことは自分にとって良い経験となりました。バレーボールを初心者で始めましたが、今ではコーチとして、休日には練習のサポートをさせていただいています。私の現役時代の目標であった近畿大会出場が叶わなかった分、後輩たちに出場してもらえるよう今後も練習のサポートをしていきたいと思っています。

また就職活動では、顧問の先生をはじめ、進路指導部の先生、各担当教科の先生にご指導いただきました。面接練習は３年生の 1 学期から始め、直前期にはいろいろな先生に1日 4 回もしていただきました。今、私が消防職員として勤務できているのは、先生方のおかげだと思っています。火災現場や救急現場に出動し、時には悲惨な現場に遭遇し苦しいときもありますが、市民の方々に「ありがとう。」「助かったよ。」といった言葉をいただき、やり甲斐を感じております。今後は救急救命士になることを目標にし、救急現場の最前線で活躍したいと思っています。

最後になりましたが、在校生の皆さん。高校生活の 3 年間で「最高の思い出」と「一生の友人」を作ってください。友人と全力で笑って、時には喧嘩をして。登美丘高等学校を卒業すれば、きっと良い思い出の 3 年間になっていると思います。私も高校時代の友人は、何事でも相談できる存在です。

今後も登美丘高等学校の成長及び発展を期待しております。100 周年、本当におめでとうございます。

■プロフィール

1999 年 9 月 11 日生　大阪府出身

2015 年　4 月　登美丘高等学校入学

2016 年　7 月　男子バレーボール主将に就任

2016 年　10 月　大阪府公立高等学校バレーボール大会 50 周年記念　東京遠征選手に選出

2018 年　3 月　登美丘高等学校卒業

2018 年　4 月　消防職員として就職

2019 年　4 月　男子バレーボール部の OB としてコーチに就任